



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	岡崎学園 大阪自動車整備専門学校		
建設地	天王寺区城南寺町		
建築用途	自動車整備専門学校		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,581.33	m ²	
建築面積	759.43	m ²	
延床面積	2,796.95	m ²	
構造/階数	S造	/	地上4階、地下1階
完了年(予定)	2026年1月		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B+
BEE=1.3

環境品質 vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 81%
③上記+②以外の 81%
④上記+ 81%

92 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 **有**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア= 3.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 周辺環境に配慮した建物のボリュームの分節、高さ・外壁位置の設定により、景観に配慮した建物形状としました。また、外部開口部を必要最小限に抑え、日射遮蔽や断熱性を高めるとともに、トップライトを設けることで、自然光による明るい内部空間を計画しています。		特になし
Q1 室内環境 自動車整備専門学校として実習室での演習や座学での適切な明るさや遮音性を確保する計画としています。	Q2 サービス性能 維持管理が容易になるような内外装や設備計画を行うよう努めました。	Q3 室外環境 (敷地内) 道路に面する敷地内は可能な限り緑化を図り、周辺環境へ配慮した外構計画としています。建物外壁位置も適度にセットバックを行うことで、道路側の圧迫感に配慮した配置計画としています。
LR1 エネルギー 開口部は必要最小限に抑えることで、熱負荷を減らし、外皮性能を高めるように計画しました。	LR2 資源・マテリアル 可能な限り、リサイクル材や再利用可能な資材を活用するとともに廃材を少なくするように努めました。	LR3 敷地外環境 騒音や光害など、周辺への影響に配慮した配置計画としました。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.3

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.7
配慮事項	低炭素建材(再生材)の採用	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	敷地内を可能な限り緑化	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	開口部は必要最小限に抑え、熱負荷を抑える計画	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.8
配慮事項	全熱交換器を計画し、熱負荷を軽減	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	- (相当)	0.57	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.72	-	0.72